

磐梯山

Hi

期 日：2015年10月29日（木） 曇りのち晴れ

コース：裏磐梯国民宿舎7:45～(車)～八方台登山口8:10/16→中の湯8:47/52→弘法清水10:23/35→
磐梯山山頂11:10/23→弘法清水11:52/15→(お花畑)→中の湯13:40/45→八方台登山口1
4:09/25～(車)～横浜20:15

参加者：L Hi、S Sa、Ni、Im、Ya、On、Ai、Ku、Sa、Shi



週間予報では降水確率40%、朝の予報は曇り。磐梯山上部には雲。雨が降らないことを願い、宿を出る。



八方台登山口に向かう。今年の紅葉は1週間早い
そうで紅葉の見頃は麓の山々まで降りていた。



八方台登山口には広い駐車場。車は少なかった。



道路を渡ると山頂へ最短コースの八方台登山道入口



ブナ林の広い道を行く。かつて中の湯に車が通った道だ。



このブナ林は明治大爆発の被害を免れたという。



硫黄の匂いがし、中の湯が見えてきた。



上の湯と下の湯は明治大爆発で埋没。中の湯は被害あったが存続し90年代後半まで営業。廃屋の前にあるこの池は露天風呂だった。



中の湯の先で裏磐梯登山道に合流、本格的な登りに入る。弘法清水への表示板が抜け落ちていた。



明治大爆発で出来た火口壁に沿う急な尾根を登る。火口壁は左手にある。



火口壁の上から火口原を見下ろす。霞んで見える銅（アカ）沼付近が爆発地点と推定されている。



火口壁から離れて右に巻き更に登る。



大方登り切ると弘法清水とお花畑の分岐。お花畑は下山時に回し、右の弘法清水へ向かう。



背丈の高い笹原の斜面を行く。磐梯山は笹が多い。「磐梯山は宝の山」と笹の関係については諸説あるようだ。



笹原越しに天狗岩とお花畑がみえる。



弘法清水に着き、最後の登りを前に一休み。売店小屋は閉まっていた。



弘法大師伝説のある清水が流れている。
ここは4丁目。山頂は5合目。



山頂へ最後の登り。本コースで最も厳しい急峻な坂を一步一步登る。約30分。



明治21(1888)年7月15日 口を開けたこの下で水蒸気爆発、小磐梯山の山体が崩壊。北側に爆風と岩屑なだれが押し寄せ、5村11集落が埋没、死者477名。川をせき止め300超の湖沼群が形成された。



東壁とナナカマドの実



ついに山頂。「磐梯明神」の周りでニコニコ。



山頂から櫛力峰。山頂左下に明治噴火跡、右下に平安噴火跡。



上の写真に写る
祠の内部



山頂から猫魔岳。スキー場が目につく。



5年前新設された三角点。
1819m から 1816mに
改訂された。



山頂から猪苗代湖



標高は以前のまま



昼食は弘法清水でとることにし下山開始



急坂を下りる



弘法清水の小屋の前、宿の梅干しお握りで昼食





猪苗代登山口を下り最初の分岐でお花畑コースに入る。お花畑は天狗岩台地ともいう。



お花畑に向かう。右手に爆裂火口。



お花畑から磐梯山山頂部



八方台登山道に合流し朝登った登山道を下る。



火口壁の上から檜原湖を望む。



全員無事八方台登山口に下山

二日間の会津の旅は終わった。昨日の郷土料理、お城・藩校見学、五色沼散策、そして本日の磐梯山登山。会津の自然、歴史、文化に触れ楽しむことができた。